

- 2 -

緑とまち並みが織りなす うるおいのまち



自然環境の保全と活用

しぜんかんきょうの ほせんとかつよう



守りたい武雄の緑。 自然は子どもたちにとって、最高の教材です。

●主な事業●

- ・市民の自然環境に対する意識の向上
- ・景観計画の策定による指導監督
- ・自然環境を学ぶ機会の創出

●10年後の目標●

- ・景観重点地区数 (0 区 → 4 区)
- ・保養村有料利用者数 (25,800 人 → 30,000 人)
- ・松浦川における親水施設整備箇所数 (0 箇所 → 3 箇所)

防災対策の充実

ぼうさいたいさくのじゅうじつ



災害を防ぐにはみんなの防災意識が必要。 地域で日頃おこなう訓練が一番の防災対策。

●主な事業●

- ・ 防災、避難訓練の実施による防災意識の向上
- ・ 自然災害や大規模事故等に対応した体制づくり
- ・ 携帯端末などの活用による防災情報システムの整備

●10年後の目標●

- ・ 地域における地区防災組織数（11組織 → 107組織）

くらしの安全対策

くらしのあんぜんたいさく



登下校を見守るボランティアの方々の努力で、子どもの安全が守られています。子どもの安全は地域で守りましょう。

●主な事業●

- ・自然災害発生危険箇所の防災措置の推進
- ・市民による地域安全活動の支援
- ・消費者保護に関する学習機会及び情報の提供

●10年後の目標●

- ・危険箇所に対する防災措置
(地すべり、土石流箇所の整備完了)
- ・学集会の開催回数 (7回 → 20回)

美しく個性的なまちづくり

うつくしく、個性あふれるまちづくり



美しい景観はまちを元気にします。郷土を愛し、景観を守っていきましょう。

●主な事業●

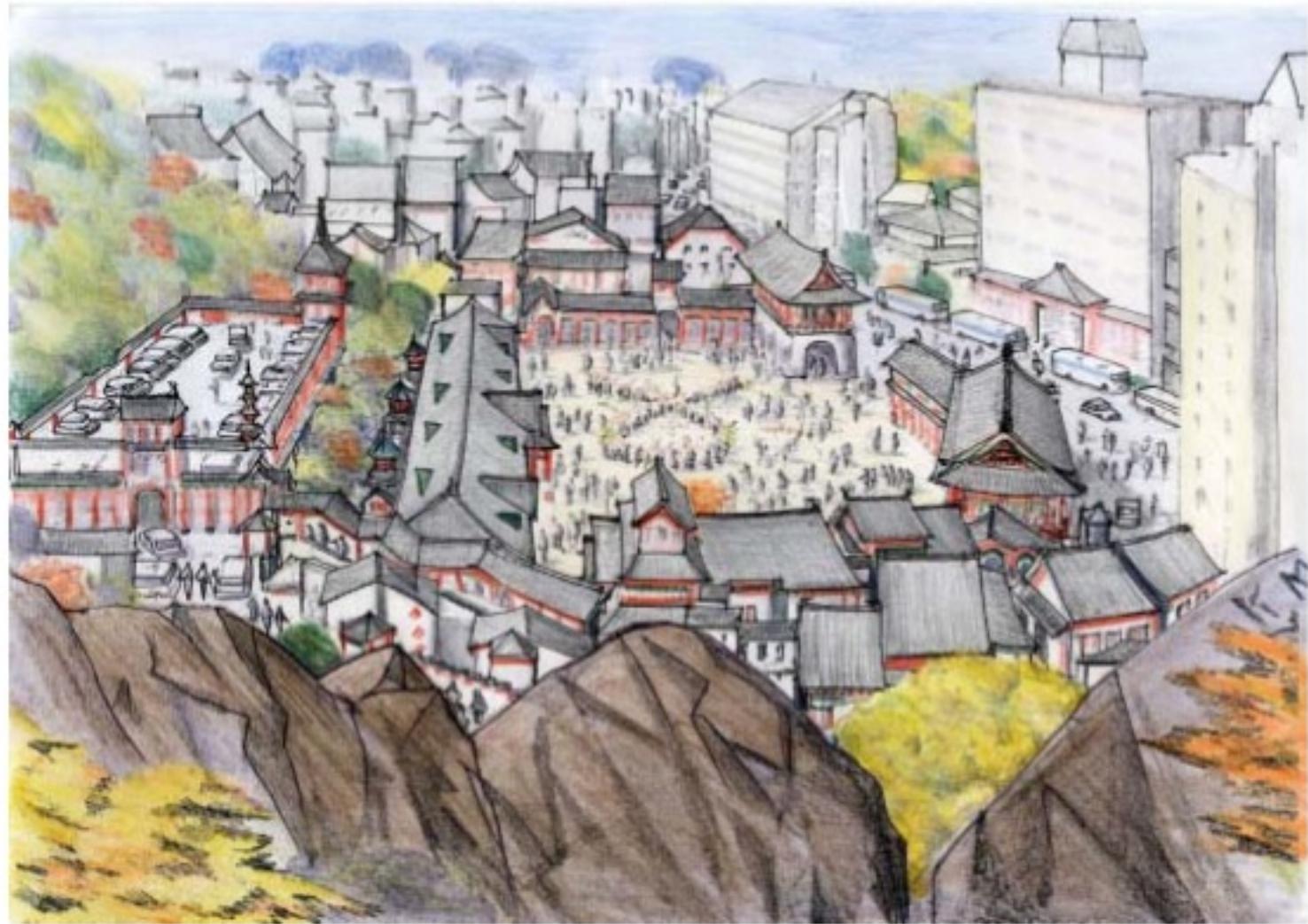
- ・都市景観形成を目指した景観計画の策定
- ・魅力ある市街地の整備
- ・武雄らしさ、美しさを演出した駅舎の整備推進

●10年後の目標●

- ・景観協定への参加地区数 (0地区 → 4地区)
- ・都市計画道路の街路樹植栽延長 (8,680m → 10,510m)

都市基盤の整備

としきばんのせいび



未来の武雄がイメージできますか？ 武雄はいろんな可能性を秘めています。

●主な事業●

- ・将来を見据えた都市計画のエリア設定
- ・市街地パリアフリーマップの作成
- ・公営住宅の需要に応じた整備促進

●10年後の目標●

- ・都市計画道路の整備率 (31.5% → 57.9%)
- ・建替えまたは改築の必要な市営住宅戸数 (108戸 → 建替え、改築完了)

交通網の整備

こうつうもふのせいけい



道路は人やモノを運ぶだけでなく、まちを見せるところでもあります。まちの発展は道路から。

●主な事業●

- ・国道498号の早期の路線決定、着工に向けた要望活動の展開
- ・国道34号の4車線化の促進
- ・国道、県道、市道の整備

●10年後の目標●

- ・市道の整備率（71% → 77%）

公共交通体系の整備

こうつうようこうつうたいけいのせいび



九州新幹線西九州ルートが描く武雄の未来。早期着工に向けて、みんなで応援しよう。

●主な事業●

- ・九州新幹線西九州ルートの早期着工へ向けた要望活動の展開
- ・新幹線駅を見据えた交通体系の検討
- ・鉄道バス路線の民間事業者による維持運営の促進

●10年後の目標●

- ・武雄温泉駅利用者数 (2,842人/日 → 3,000人/日)

資源の循環

しげんのじゅんかん



青い空のために、子どもたちの未来のために。みんなにできることがたくさんあるはず。

●主な事業●

- ・ごみ減量化に向けた市民活動の推進
- ・ごみの減量化に対する市民意識の啓発
- ・プラスチックの分別収集による再資源化

●10年後の目標●

- ・ごみの減量化（可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ 10%減）
- ・資源ごみリサイクル率（19.4% → 29.4%）

水の循環

みずのじゅんかん



蛇口をひねれば出てくる水も、川の水も、空から降る雨もみんなつながっている。もう一度、考えてみよう。

●主な事業●

- ・水需要の動向把握による安定した水供給
- ・浄水施設の維持管理、給配水管の計画的な更新
- ・効率性や経済性を考慮した生活排水処理方式の選定

●10年後の目標●

- ・生活排水処理率 ($39.6\% \rightarrow 59.8\%$)

環境対策

かんきょうたいさく



まちをきれいに。ごみはきちんと分別して。一人ひとりの努力で環境を守ってます。

●主な事業●

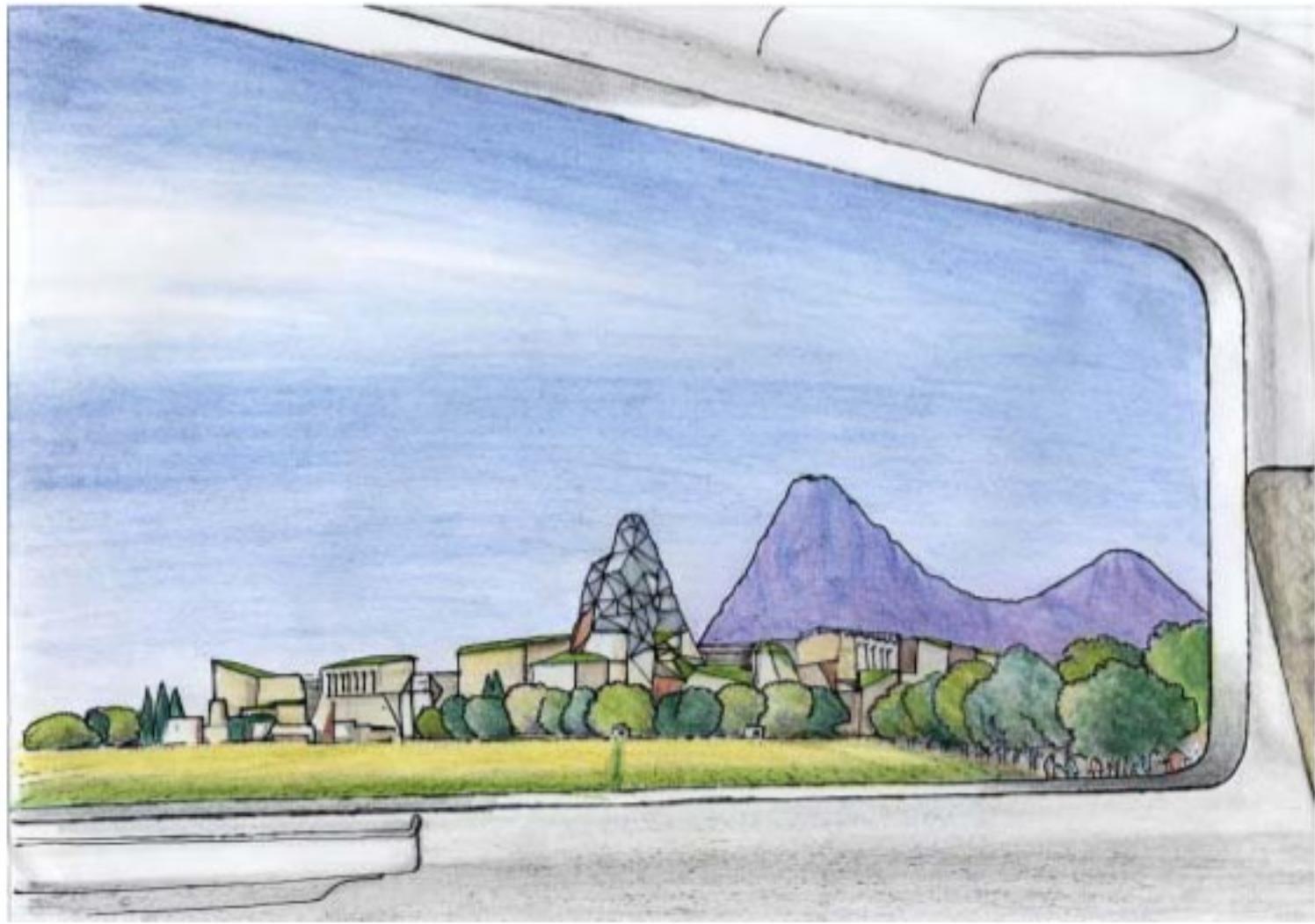
- ・市民総参加による環境への負荷の少ない社会づくりの推進
- ・市民の環境保全活動の支援
- ・関連法令等の遵守、環境改善の指導

●10年後の目標●

- ・河川水質検査の環境基準達成箇所 (19箇所 → 21箇所)
- ・ボランティアサポート制度の登録団体数 (7団体 → 50団体)

地域特性を活かした土地利用の推進

ちいきどくせいをいかしたとちりようのすいしん



車窓から御船山が見えると、武雄に帰って来たと実感する。まち並みがかわってもそれは同じ。

●主な事業●

- ・都市部における市街地の弾力的な見直し
- ・圃場整備地区などの優良農地の確保
- ・規制と誘導を通じた計画的土地利用の実現

●10年後の目標●

- ・区画整理地区内の在農地割合 $(8.5\% \rightarrow 5.0\% \text{以下})$
- ・産業立地のための土地利用面積 $(40\text{ha} \rightarrow 110\text{ha})$